

項番	項目	内容
1	講義名	スポーツ生理学とコーチング
2	担当教員	宮城 修
3	開講時期	秋
4	時間数	2時間
5	授業概要	スポーツ生理学の応用編として「運動中におけるエネルギー供給機構の関与を測定する方法」を酸素摂取量、心拍数、及び血中乳酸値を指標にすることによって理解を深め、コーチングに活かす方法をテーマに行う。
6	到達目標	運動中におけるエネルギー供給機構の関与を測定する方法と指導現場における実践能力の習得を目標とする。
7	授業形態	対面
8	テキスト	教員作成のpdf資料を使用するので、各自manabaからダウンロードして準備をする。
9	履修上の注意	指導中の部活動にてフィードバックされたい。
10	連絡先、連絡方法など	DB manaba
11	実務家教員に該当する実務家経験 (5年以上)	日本サッカー協会フィジカルフィットネスプロジェクトメンバー
12	その他	対面授業の場で実際の動きや指導法等を実践、確認し、さらにディスカッションをしながら、より実践的な能力とスキルを身に着け、知見を深めていく。